

リンパ脈管筋腫症患者における肺移植登録後および移植後成績に関する後ろ向き多施設研究

1. 研究の対象

2006年1月～2022年12月の期間に大阪大学医学部附属病院および日本全国の肺移植実施施設において、リンパ脈管筋腫症（LAM）に対する肺移植登録待機中の方、あるいは待機後に肺移植手術が施行されている方。

2. 研究目的・方法

LAMは主に女性が発症する全身疾患であり、進行性の呼吸機能低下が特徴です。進行した呼吸不全を伴う場合には、肺移植が唯一の治療選択肢ですが、日本では移植のドナー不足から待機期間が諸外国より長くなっているのが現状です。LAM患者の肺移植後登録後の管理方法が、待機中の経過や肺移植後周術期合併症に与える影響について検討することが研究の目的です。研究期間は2023年～2025年末を予定しています。診療上でえられた情報を利用して、肺移植登録待機中および肺移植後の成績に関する影響を解析します。利用又は提供を開始する予定日：2023年10月

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、BMI、呼吸器症状、血液検査結果、生理学的検査結果(呼吸機能など)、病歴、治療内容（手術、服薬歴）、治療効果などの診療上えられた情報を利用します。

ただし、カルテ番号、生年月日、イニシャル、病理検体番号等の個人を特定しうる情報は使いません。

4. 外部への試料・情報の提供

研究事務局へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、各施設の研究分担者が保管・管理します。

5. 研究組織

全国の肺移植実施施設：

獨協医科大学 呼吸器外科	千田 雅之
千葉大学 呼吸器外科	鈴木 秀海
藤田医科大学病院 呼吸器外科	星川 康
東京大学 呼吸器外科	佐藤 雅昭
東北大学 呼吸器外科	岡田 克典
京都大学 呼吸器外科	中島 大輔

岡山大学 呼吸器外科	豊岡 伸一
福岡大学 呼吸器外科	白石 武史
長崎大学 呼吸器外科	永安 武

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

本研究に参加することを拒否する患者さんは下記へ連絡を下さい。この研究に参加されなくても治療上の不利益を受けることは一切ありませんのでご安心ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

研究代表者

新谷 康（大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器外科学）
大阪府吹田市山田丘 2-2 (L5)
TEL: 06-6879-3152, FAX: 06-6879-3164

研究総括責任医師

狩野 孝（大阪大学大学院医学系研究科 呼吸器外科学）
大阪府吹田市山田丘 2-2 (L5)
TEL: 06-6879-3152, FAX: 06-6879-3164